

# ろっかしよ 議会だより



お子さまおさかな広場に  
参加する子どもの様子

## 9 月 定 例 会

- ◆9月定例会のあらまし ..... 2
- ◆令和4年度 一般会計等の決算 ..... 4
- ◆村の考えを問う ..... 6  
一般質問に4人の議員が登壇
- ◆12月定例会の予定など ..... 12



祝辞を述べる鳥山議長



六ヶ所村HP



議会だより

### 令和4年度各会計の決算状況

会計名	収入(千円)	支出(千円)	差引残額(千円)
一般会計	15,389,382	15,043,730	345,652
特別会計			
国民健康保険(事業勘定)	1,002,942	991,669	11,273
後期高齢者医療	101,085	96,903	4,182
国民健康保険(千歳平施設勘定)	112,496	110,160	2,336
介護保険(保険事業勘定)	1,159,862	1,092,164	67,698
合計	17,765,767	17,334,626	431,141

#### 令和4年度の一般会計歳入歳出差引額：431,141千円

※歳入歳出差引額のうち令和4年度の特定の事業に143,332千円、172,000千円を基金繰入額に、残額の115,809千円は翌年へ繰越します。

### 令和4年度企業会計の決算状況

会計名	収入(千円)	支出(千円)	差引残額(千円)	
水道事業	収益的 ※1	337,627	300,467	37,160
	資本的 ※2	97,400	252,483	▲ 155,083
農業集落排水事業	収益的 ※1	82,578	79,583	2,995
	資本的 ※2	32,013	55,608	▲ 23,595
下水道事業	収益的 ※1	645,770	635,070	10,700
	資本的 ※2	202,150	470,313	▲ 268,163
工業用水道事業	収益的 ※1	27,506	25,139	2,367
	資本的 ※2	8,887	8,889	▲ 2
合計	1,433,931	1,827,552	▲ 393,621	

※1 経営に伴い発生が予想される収入と支出

※2 将来に備えて行う建設改良等の支出とその財源となる収入

### 健全化判断比率

	令和4年度	早期健全化基準	①～④の指標について、国の示す基準を下回っており、 村の財政は健全な状態です。
① 実質赤字比率	- (%)	13.65 (%)	
② 連結実質赤字比率	- (%)	18.65 (%)	
③ 実質公債費比率	3.7 (%)	25.0 (%)	
④ 将来負担比率	- (%)	350.0 (%)	

※実質赤字又は連結実質赤字がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合は「-」を記載している。

# 令和4年度一般会計ほか8会計

## 総額約17.3億3千万円を決算認定!

令和5年9月定例会は、9月8日から9月14日までの7日間の会期で開催されました。11日には、一般質問が行われ4人の議員が登壇しました。(質問の内容はP6～P9をご覧ください。)

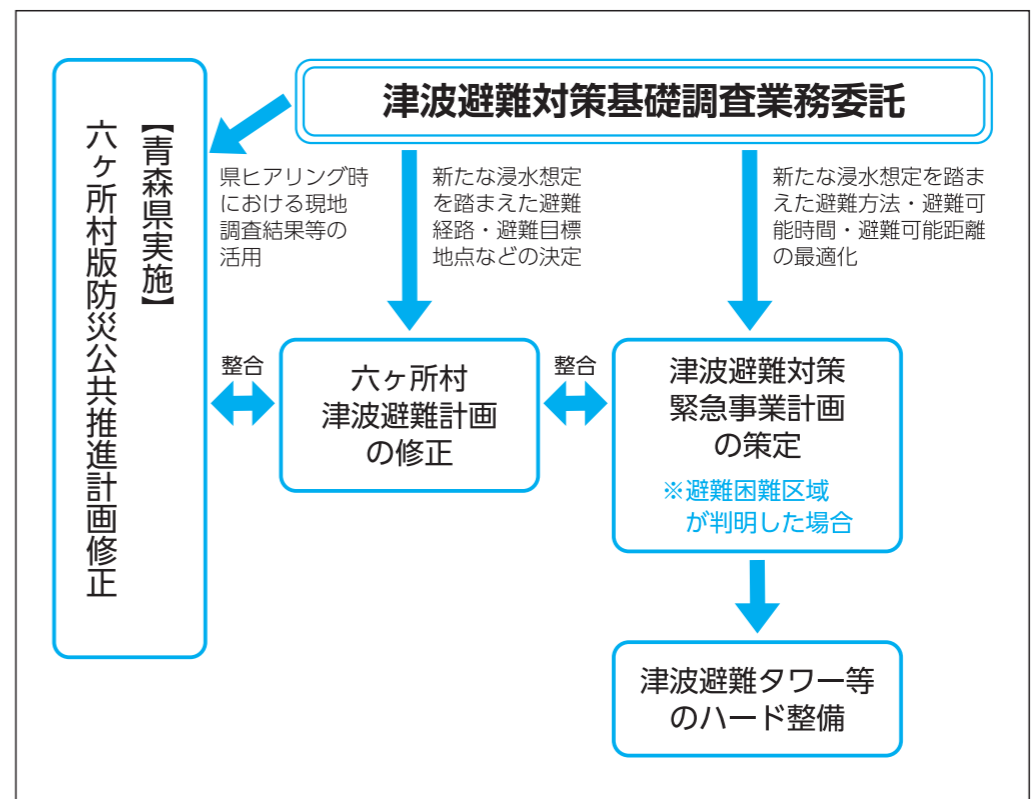
また、審議に先立ち、海津代表監査委員より、決算審査意見が述べられ、一般会計を含む認定9件及び(仮称)千歳平小学校放課後教室建築工事に係る契約の締結など、議案10件が上程され、いずれも原案どおり全会一致で可決されました。

鷹架地区観光拠点エリア整備基本計画策定事業 33,990千円

持続的に人々が集まり、にぎわいを創出できるエリアの整備に向けた「鷹架地区観光拠点エリア整備基本計画」を策定するものである。

津波避難対策基礎調査事業 8,789千円

津波到達時間内に高台への避難が困難な地区に対しては、津波避難タワーなどの整備を検討する必要があり、津波想定を踏まえた現地調査等を行い、今後の津波避難対策に資するものである。



### 農林水産業費

支出額 744,817千円  
構成比 4.95%

農林水産業費は、農業・漁業・畜産業の振興対策などに使われました。

○野菜予冷库改修工事請負費	64,160千円
○村営放牧場指定管理委託料	30,867千円
○農道整備工事請負費	49,229千円
○泊地区漁船修理施設改修工事請負費	32,890千円
○尾駸地区漁船修理施設改修工事請負費	44,660千円



野菜予冷库

### 土木費

支出額 2,441,053千円  
構成比 16.23%

土木費は、道路・村営住宅等の維持管理や建設などに使われました。

○路面性状調査委託料	27,500千円
○村道等舗装補修工事請負費	35,643千円
○除排雪委託料	370,809千円
○尾駸地区排水路転落防止対策工事請負費	58,058千円
○(仮称)尾駸地区多目的広場整備工事請負費	58,436千円



除排雪委託

### 教育費

支出額 1,747,576千円  
構成比 11.61%

教育費は、小中学校の管理や社会教育・スポーツ振興などに使われました。

○六ヶ所高校通学バス運行委託料	101,112千円
○スクールバス運行委託料	80,408千円
○千歳平小学校グラウンド整備工事請負費	125,177千円
○千歳平小学校外構工事請負費	119,312千円
○屋内温水プール指定管理委託料	137,344千円



屋内温水プール「ろっぴ」

### その他

支出額 4,281,644千円  
構成比 28.46%

○議員報酬や議会活動に使われた金額	131,018千円
○商工業や観光振興に使われた金額	375,718千円
○消防活動や防災活動に使われた金額	824,843千円
○借り入れたお金の返済に使われた金額	402,912千円
○特別会計や公営企業会計に支出した金額	2,547,153千円

# 令和4年度一般会計の予算 約150億4,300万円は、 これらの事業に使われました！

※構成比とは、一般会計決算を100%としたときに、各支出額がそのうちの何%を占めているかを表したものです。

### 総務費

支出額 2,728,202千円  
構成比 18.14%

総務費は、村の全体的な事務などに使われました。

○原子力立地給付金交付事業費補助金	104,529千円
○文化交流プラザ指定管理委託料	194,128千円
○住宅新築・リフォーム助成金	68,977千円
○システム更新業務委託料	125,433千円
○地域情報基盤設備更新工事実施業務設計委託料	45,137千円



文化交流プラザスワニー

### 民生費

支出額 1,937,099千円  
構成比 12.88%

民生費は、お年寄りや子どもなどの福祉に使われました。

○障がい者自立支援給付費	315,862千円
○高齢者等無料入浴送迎バス運行委託料	39,931千円
○千歳平こども園指定管理委託料	123,078千円
○泊こども園指定管理委託料	106,005千円
○南こども園指定管理委託料	82,743千円



千歳平こども園

### 衛生費

支出額 1,163,338千円  
構成比 7.73%

衛生費は、各種健診や予防接種、ごみ処理などに使われました。

○各種検診委託料	33,913千円
○定期予防接種委託料	20,750千円
○六ヶ所村医療センター指定管理交付金	221,000千円
○新型コロナウイルスワクチン接種委託料	23,885千円
○ごみ収集委託料	65,666千円



六ヶ所村医療センター



高田 翔 議員

**高田 翔 議員**  
質問：村内における鳥獣による被害状況及び対策について伺う。

**戸田村長**

回答：防災行政無線で情報提供と注意喚起を行い、警察や消防に周辺のパトロールの強化を依頼しています。  
また、猟友会に対してクマの捕獲用檻の設置や巡回を依頼しています。

ごども園付近にて親子連れのクマの出没が相次いでおり、駆除隊が先日、六原地区でクマを1頭駆除したと伺ったが、ごども園ではいまだに駆除できていないと聞き及んでいる。  
そこで、村内における鳥獣被害の対応については、小学校中学校とも、心身の不調によるものとなっており、いじめによる不登校は確認されておりません。  
教育委員会の対応としては、まず、早期発見に努めるため、校長とのヒアリングの実施や学校内の見回りにより、児童生徒の状況等の確認を行っています。

②教育相談員が4名配置され、月に1回程度は学校を訪問しているとのことですが、教育相談員は、学校とどのように連携しているのか。

害の対応について、現在村で把握している本年の被害状況とその対策について村長の所信を伺う。

本村でもクマやイノシシ、ニホンジカが目撃情報は、年々増加傾向となっておりますが、農作物等への被害報告は、直接受けていないことから、特に大きな被害はないものと認識しております。

今年度は、クマの目撃情報が急激に増加しており、クマの目撃情報が寄せられた際には、村内全域に防災行政無線を活用して情報提供と注意喚起を行うとともに、警察や消防に情報提供し、周辺のパトロールの強化を依頼しているところであります。

また、必要に応じて、六ヶ所村猟友会に対して、クマの捕獲用檻の設置や巡回を依頼しておりますが、捕獲に至っていないところであります。

本職としては、住民の安全安心の確保を第一義とし、今後、引き続き、関係機関と連携を密に対策を講じて参ります。

また不登校の児童、生徒に対して、どのように対応しているのか、お伺いします。

②教育相談員は、児童生徒やその保護者に対して、学校に適応できないなどの悩みや子育て・特別支援教育に関する悩みについて、広く相談できる体制を整えるため配置しています。  
具体的な対応としては、児童生徒本人との対話による悩みや不安の共有、学校や保護者との面談による生活状況や個性等の把握をし、状況によっては、医療機関やカウンセリングの受診を支援するなど、その子供に合わせた教育相談を行っています。

また、学校に登校できなくなった児童生徒に対しては、個別に学習指導を行う適応指導教室を実施し、学校へ復帰するための支援をするともに、保護者や教職員からの相談に対しても指導や助言を行い、より良い教育環境を作るため活動しています。

上記以外に、高田議員より提出された一般質問の件名  
・村営住宅へのエアコンの設置に関して



附田 角栄 議員

**附田 角栄 議員**  
質問：教育相談員は、学校とどのように連携しているのか。  
また、不登校の児童、生徒にはどのように対応しているのか。

**橋本教育長**

回答：児童生徒本人との対話や、学校や保護者との面談を実施し、教育相談を行っています。  
また、学校に登校できなくなった児童生徒に対しては、適応指導教室を実施し、保護者や教職員からの相談に対しても指導や助言を行っています。

③平日や長期の休みでも課題が無く、テストの回数も減少していることから、学力の低下が心配である。  
また、進学指導についても、生徒の学力に応じた学校選択や学力を伸ばす指導をしていないように感じているとのことであるが、学校教育指導の変化によるものなのか、お伺いします。

③村内中学校3校のうち1校では、課題が無く、中間テストも行っていないことを確認しております。  
これは、生徒自身が自ら学ぶ姿勢がなければ、学力向上が難しいとの学校の方針で行っているものであります。

また、課題等をなくしたことによる学力低下を防ぐため、自習用の学習ドリルの紹介や学習計画を立てて勉強するよう指導しているほか、授業等で理解できなかったところについては、毎週金曜日に個別に対応していると伺っております。

今回の事案については、学校の方針が保護者へ適切に伝わっていない懸念がありますので、

本村における学校教育は、郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く人材育成を目指し、教育の充実を図るとされていきます。

先日、中学生の保護者の方々とお話をする機会があり、その中で学校教育への期待や不安などのご意見やご要望がありまして、次回の4点について、お伺いいたします。

①昨年秋ごろ県教育委員会が県内の小中学校での不登校の状況について発表され、30日以上欠席した不登校の児童生徒が、いずれも過去10年で最多でありました。

そこで、本村の小中学校の状況は如何か。また、学校や教育委員会はどのような対応をするのかお伺いします。

①令和4年度の村の状況は、小学校は2名、中学校は9名で合計11名であり、過去5年間は、ほぼ横ばいで推移しております。  
なお、不登校となっている主

保護者に、丁寧に説明するよう指導するほか、学校訪問時にテストの結果や授業等の状況を確認し、必要に応じて見直しの指導を行って参りたいと考えております。

④村外の高校に進学する生徒の下宿が探しにくく、経済的な負担は大きいことから、当該世帯への新たな支援策を講ずる考えはないか。  
また、八戸市、三沢市、十和田市、むつ市内の高校に進学する生徒を対象とした下宿の確保について、村が斡旋するなどの対策を検討する考えはないか、お伺いします。

④現在村では、村外の高校へ進学する生徒に対して、通学費や下宿等に要する費用の負担軽減として、月額7千円を支給する高等学校生徒通学費等補助金を交付しています。

なお、下宿の斡旋につきましては、特定の事業者を紹介することとなり、行政として馴染まないものと考えております。

# 一般質問 村長、どう考えますか。

# 一般 村長、どう考えますか。 質問



寺下 和光 議員

寺下 和光 議員  
質問：スクールバス等公用車の更新時期について伺う。

戸田村長  
回答：経過年数、走行距離等を踏まえ、総合的に検討を行い、スクールバスについては、児童生徒の安全確保を第一義に更新して参りたいと考えております。

和3年度の決算書によれば、202台となっております。村長は、ゼロカーボンシテイを掲げていることや燃料価格上昇等を踏まえれば、車両を更新する際には、電気自動車やハイブリッド車の導入も視野に各車両の更新時期等について、お伺いします。

①二輪自動車の配置先と使用目的及び使用実績について、伺います。

①農林水産課が管理する酪農振興センターに原動機付自転車3台を配置しており、当該センターの作業員が広大な敷地内の牛舎間の移動等に使用しております。

②普通・小型・軽四貨物自動車、普通乗合・乗用自動車、小型・軽四乗用自動車の車種ごとに電気自動車及びハイブリッド車の導入状況と更新時期をどの程度としているか、伺います。

②現在の公用車の更新時期の考え方については、経過年数、走

項目	R5.4.1現在	
	所有台数	内 工 コ カー 台数
普通・小型・軽四貨物自動車	27台	2台
普通乗合・乗用自動車	48台	10台
小型・軽四乗用自動車	20台	3台
特殊自動車・建設機械等	107台	0台
合計	202台	15台

行距離、修繕の頻度、定期点検の結果等を踏まえ総合的に検討を行い、車両ごとに判断し、更新しているところでありませ

③特殊自動車と建設機械等の更新時期をどの程度としているか、伺います。

④スクールバスについては、児童生徒の送迎は勿論、多くの行事等に利用されていることから、走行距離や運用期間も厳格に管理されていなければならぬと思慮するが、先般、本村のむつ小川原国家石油備蓄基地を中心に行われた、青森県石油コ



高橋 文雄 議員

高橋 文雄 議員  
質問：高齢者の就業を提供するため、シルバー人材センターを法人化する考えはないか。

戸田村長  
回答：公益社団法人の認定に必要な公益認定基準の18項目をクリアする必要がありますので、可能性について調査・検討して参りたい。

六ヶ所村シルバー人材センターは、六ヶ所村社会福祉協議会が、村の業務委託を受け、この事業を展開しています。地域の高齢者に就業を提供して生きがいのある生活を実現し、ボランティア活動など様々な社会参加を通じて、地域社会の活性化や福祉の向上に貢献す

る組織であり、積極的に活動することにより労働力不足解消の一助になることも予想されます。あらゆる作業に従事することが法的に規制されておりますが、法人化することにより広く認知され会員も増加するものと思えます。「自分の趣味の時間を束縛されたくないから、短期間なら働いてみよう」とか、「一日中は働けないけど短時間なら」など就労条件は様々でそれらに対応することにより、より活性化するものと思えます。法人化の対応について村長の考えを伺います。

当センターは高齢者に働く機会を提供し、「高齢者の生きがいの充実」をはじめ、「生活の安定」や「地域社会の発展」、そして「現役世代の下支え」などを推進することを目指し、毎年4月1日に「六ヶ所村シルバー人材センター運営事業実施要綱」に基づき、六ヶ所村社会福祉協議会と業務委託契約を締結し、その運営事業を実施しているところであります。

は、会員登録人数は年々増加傾向にあり、令和4年度は41名が登録されており、事業の決算額は約1,200万円で、従事する職員の人件費は村からの補助金で運営されております。就業の内容としては、「ゆき青森農業協同組合」の野菜選別をはじめ、「企業や個人」などから依頼された草刈りや、村が委託する高齢者世帯等の除雪など、1日当たり4時間から8時間程度の就業となっております。

ご質問の、村の「シルバー人材センターの法人化」については、本職としては公益のために事業を行う団体として設立することにより、社会からの信頼度は高くなり、人も集まりやすくなることや、寄付の税制優遇があることなどから、「公益社団法人」の認定のために必要な「公益目的事業を主たる目的とする」と「を」をはじめ、「その事業を行うのに必要な経理的基礎及び技術的能力を有すること」や「公益目的事業の収入が、適正な費用の額を超えないこと」などの公益認定基準の18項目をクリア

ンビナート等防災訓練時に来賓等の送迎用バスとして配車されておりましたが、車体の錆や購入後15年経過しているとの情報等を鑑みれば、本村の将来を担う児童生徒の安全確保上からも、走行距離や12年程度を目途に更新する等の目標を設定すべきと考えるが、如何か。

③、④ 更新時期については②と同様に考えている。

今後の公用車の更新に際しましては、できうる限り「工コカー」を導入するとともに、スクールバスの更新については、児童・生徒の安全確保を第一義に進めて参りたいと考えております。

上記以外に、寺下議員より提出された一般質問の件名について  
・六ヶ所消防署の新築移転について  
・村内の国道及び県道の樹木剪定について  
・上下水道接続部等の現状把握について

する必要が参りますので、可能性について調査・検討して参りたいと考えております。

上記以外に、高橋議員より提出された一般質問の件名  
・第一次産業分野における労働力不足の解消方策と資材高騰対策について

一般質問の詳細や、再質問、掲載されていないものについては、HPより議事録をご確認ください。

9月定例会での各常任委員会及び特別委員会の開催状況をお知らせします！

総務教育常任委員会

◆六ヶ所村犯罪被害者等支援条例を制定！

[案件] 六ヶ所村犯罪被害者等支援条例（案）について  
 ⇒犯罪被害者等の抱える問題は多岐に及ぶため、様々な支援が必要とされていることから、村では、村民が安心して暮らすことのできる社会の実現に向け、犯罪被害者等への支援の充実や、村民の理解協力等の観点から、六ヶ所村犯罪被害者等支援条例を制定することとしました。  
 村の支援策としては、日常生活等に伴う支援や、村民等の理解の増進、人材の育成等、支援体制の構築、民間支援団体に対する支援について規定した旨の説明がありました。

[委員意見]  
 ・犯罪被害者等への迅速な対応が必要とされることから、これまで以上に関係機関との連携を強化するべきである。

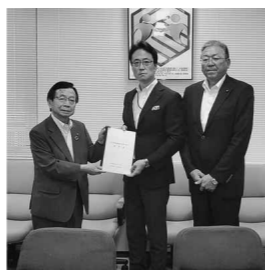
◆防衛省に対する要望活動を実施！

[案件] 防衛省に対する要望結果について  
 ⇒去る8月28日および29日に実施した三沢対地射撃場周辺対策に関する要望結果について説明があり、回答内容等を確認しました。

[委員意見]  
 ・要望項目や要望内容は、施設周辺地域の住民の意見を聞いて検討するべきである。  
 ・長年要望している三沢対地射撃場の特殊性を考慮した騒音評価方法の新たな制定については、廃弾処理音等が飛行騒音と一体的な評価には馴染まないとの回答となっているため、全国の基地関係の協議会など、様々な団体における要望内容の確認を行い、工夫するべきである。



中野東北防衛局長へ  
要望書を手交する様子



大和地方協力局長へ  
要望書を手交する様子

産業福祉常任委員会

◆子育て世帯へ村独自の支援！

[案件] 子育て世帯物価高騰対策給付金事業について  
 ⇒食費等の物価高騰の影響を受けた子育て世帯を支援するために、村独自の支援として、0歳から高校生等までの児童を養育する者で村内に住所を有する者に対し、児童一人当たり3万円を支給する旨の説明があり、対象児童は約1,400人で、事務費を含めた事業費は43,606千円を見込んでいたとのことでした。

◆ひとり親世帯へ支援！

[案件] ひとり親世帯等臨時特別給付金事業について  
 ⇒食費等の物価高騰の影響を特に受けるひとり親世帯等の経済的な負担を軽減するために、県独自の支援として児童一人当たり5万円を支給する旨の説明があり、対象児童は約100人で、事務費を含めた事業費は5,075千円を見込んでいたとのことでした。

むつ小川原エネルギー対策特別委員会

◆新むつ小川原株式会社及び電気事業連合会へ要望活動の実施！

[案件] 関係機関に対する要望について  
 ⇒去る8月29日に実施した新むつ小川原株式会社及び電気事業連合会に関する要望結果について説明があり、回答内容等を確認しました。



新むつ小川原(株)福田社長へ  
要望書を手交する様子



電気事業連合会  
佐々木副会長へ  
要望書を手交する様子

9月定例会の主な議案審議結果及び補正予算を公開！

議案名	議案概要	賛否
六ヶ所村犯罪被害者等支援条例の制定について	犯罪被害者等の支援についての基本理念を定め、犯罪被害者等の支援に関する施策を総合的に推進することを目的に本条例を制定するもの。	原案可決
(仮称)千歳平小学校放課後教室建築工事請負契約の締結について	契約金額：81,389,000円 契約相手：松尾建設株式会社 延床面積：193.80㎡	
債券の放棄について	学校給食費に係る債権を放棄するもの。	

令和5年度 9月補正予算（歳出一覧表）

(単位：千円)

会計名	補正前	補正額	補正後	
一般会計	15,263,963	171,313	15,435,276	
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	1,003,322	4,164	1,007,486	
後期高齢者医療特別会計	100,207	37	100,244	
国民健康保険特別会計 (千歳平施設勘定)	121,000	0	121,000	
介護保険特別会計 (保険事業勘定)	1,087,696	59,179	1,146,875	
水道事業会計	※1	325,745	0	325,745
	※2	369,893	0	369,893
農業集落排水事業会計	※1	82,561	0	82,561
	※2	43,115	0	43,115
下水道事業会計	※1	658,318	0	658,318
	※2	576,283	0	576,283
工業用水道事業会計	※1	30,807	0	30,807
	※2	6,107	0	6,107
合計	4,405,054	63,380	4,468,434	

※1 収益的支出…固定資産の維持管理または破損個所の現状回復に要する支出のこと

※2 資本的支出…固定資産の価値を高めるもしくは耐久性を増すために必要となる支出のこと

## 福井県おおい町議会と意見交換会を開催!!

去る10月13日に福井県おおい町議会議員13名が、本村を訪れました。

冒頭では、村の原子力政策や安全対策について説明を行い、その後、議員同士で意見交換会を実施いたしました。

お互いに原子力施設を抱える自治体議会としての課題などについて活発な議論が行われました。



### 令和5年第5回六ヶ所村議会定例会会期日程(案)

日程	月日(曜日)	区分	会議内容
第1日目	12月1日(金)	本会議(午前10時)	開会、提出議案上程・説明、委員会付託 特別委員会※
第2日目	12月2日(土)	休日休会	
第3日目	12月3日(日)	休日休会	
第4日目	12月4日(月)	本会議(午前10時)	一般質問
第5日目	12月5日(火)	休会	常任委員会※
第6日目	12月6日(水)	本会議(午前10時)	議案審議
第7日目	12月7日(木)	本会議(午前10時)	議案審議、委員長報告、閉会

※ 各委員会の開催時間等は、決まり次第HPでお知らせします。【議会の日程は変更されることがあります】

### 議会を傍聴してみませんか？



議会を監視するのは『あなた』です。9月定例会の傍聴人は29人でした。あなたも議会の傍聴をしてみませんか？

傍聴は村政を知る良い機会です。また、ロックTVで一般質問の様子を録画放送しております。定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開催されます。臨時会は必要に応じて開催されます。詳しくは議会事務局72-8121へお尋ねください。

### ……編集後記……

議会だより第66号をお届けします。

今年の夏は全国的に猛暑日が続き、本村でも30度を超える日が多く、気象庁が統計をとりはじめてから、最も暑い夏だったとのこと。

これから本格的な冬を迎えることになりましたが、季節の変わり目には体調を崩しやすいため、新型コロナウイルス感染症や季節型インフルエンザに留意し年末年始を健やかに過ごしてください。

#### 六ヶ所村議会広報委員会

委員長 高田 翔  
副委員長 丹波 芳弘  
委員 高橋 文雄  
橋本 竜  
滝口 榮一